

福祉の魅力 小中生が発表

10日、中京

小中学生に福祉の仕事の魅力を伝える京都府の「次世代の担い手育成事業」合同発表

会が10日午後1時から、京都市中京区烏丸通丸太町下ルのハートピア京都で開催され

る。同事業に参加する小中学校6校の児童生徒が、職場体験や施設職員への取材などについて発表する。教職員や生徒を受け入れた福祉施設職員らによる意見交換会も行われる。

当日受け付けて無料。問い合わせは主催

の「きょうと介護・福祉シヨブネット」8075(052)6297。

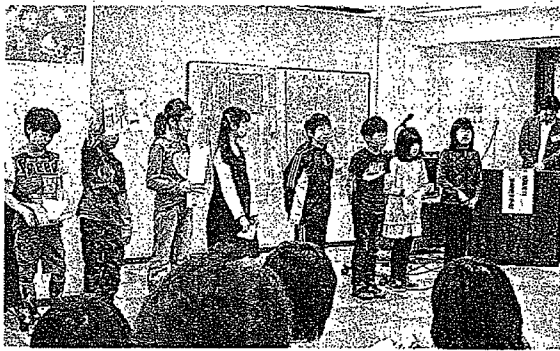
5. 3. 11 (月) 京都新聞

福祉の仕事 興味持てた

福祉の仕事の必要性や魅力を小中学生に伝える京都府の「次世代の担い手育成事業」の合同発表会が10日、京都市中京区のハートピア京都であった。六つの実践校の児童、生徒が福祉施設での職場体験校、中京で体験報告

実践校、中京で体験報告
実践校、中京で体験報告
実践校、中京で体験報告

実践校、中京で体験報告
実践校、中京で体験報告
実践校、中京で体験報告



明した。「利用者の笑顔や感謝の言葉が職員さんの元気の源になっていることが分かった」と感想を述べた。

このほか、各校の生徒らが「人になやましい街作りについても考えた」福祉の仕事に興味を持てた」などと語った。

発表会は「きょうと介護・福祉シヨブネット」が主催し、約80人が参加した。(生田和史)

福祉施設への職場体験や取材を通じて感じたことを発表する児童(京都市中京区・ハートピア京都)